

令和 5 年度入学試験

沖縄県立芸術大学
音楽学部

問題解答例

入試問題例・解答例

《試験科目 目次》

*一般入試

	問題	解答
楽典（本試験）（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）・・・	1	2
楽典（追試験）（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）・・・	3	4
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）・・・	5	6
聴音（本試験）・・・	7	—
聴音（追試験）・・・	8	—
新曲視唱・・・	9	—
作曲実技・・・	10	—
小論文（音楽文化専攻）・・・	11	12
小論文（琉球芸能専攻社会人選抜）・・・	13	14
初見視唱・・・	15	—

*推薦入試

	問題	解答
楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）・・・	16	17
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）・・・	18	19
聴音・・・	20	—
新曲視唱・・・	21	—
小論文（音楽文化専攻）・・・	—	22
初見視唱・・・	23	—

I 下記の楽譜1）は、モーツァルト ピアノソナタ K.311 の冒頭です。設問に答えなさい。

- 1 楽譜1）の調をドイツ語で答えなさい。
- 2 楽譜1）の α の音を属音とする短調の音階を、調号を用いて書きなさい。
(和声短音階の上行形を書くこと)
- 3 第1小節と第2小節を長二度上に移調し、調号を用いないで解答用紙に記入しなさい。
(アーティキュレーションなども全て明記する。)

楽譜 1)

Allegro con spirito

α

II 下記の記号は、メシアンの「移調が限られた第7旋法」です。i～xiの音を組み合わせることができる和音（異名同音を含む）の種類を例にならって表1のア～ケから選り記号で答えなさい。

i ii iii iv v vi vii viii ix x xi

例 i + iv + vii	1 ii + v + viii	2 iii + vi + ix	3 ii + v + ix
4 iv + vii + x	5 iii + v + viii + x	6 iii + v + vii + x	

表1

ア 長三和音	イ 短三和音	ウ 減三和音	エ 増三和音	オ 属七の和音
カ 減七の和音	キ 短七の和音	ク 長七の和音	ケ 導七の和音	

III 下記の楽譜2）は、モーツァルト ピアノソナタ K.311 の抜粋（曲の途中）です。
設問に答えなさい。

- 1 ①～⑤の音程を例にならって答えなさい。(複音程は単音程に直すこと)
- 2 楽譜2）の調をドイツ語で答えなさい。
- 3 楽譜2）の β の音を主音とする長調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書きなさい。また、その名称を譜表の上部に、和声記号を下部に書きなさい。
- 4 楽譜2）の完全小節を $\text{♩} = 80$ のテンポで演奏した時の演奏時間を秒数で答えなさい。
(ただし、演奏によるテンポの変化はないものとする)

楽譜 2)

例

β

IV 次の楽語の意味を表2のア～カから選り記号で答えなさい。
(同じ記号を複数回選ばないこと)

1 appassionato	2 stringendo	3 brillante
4 diminuendo	5 dolente	6 animato

表2

ア 次第に速く（次第に急迫して）	イ 情熱的に	ウ 華やかに
エ 生き生きと（活気を持って）	オ 次第に弱く	カ 悲しげに

(模範解答)

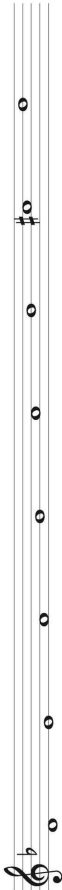
科目名： 楽典

受験番号

I

1 D-dur

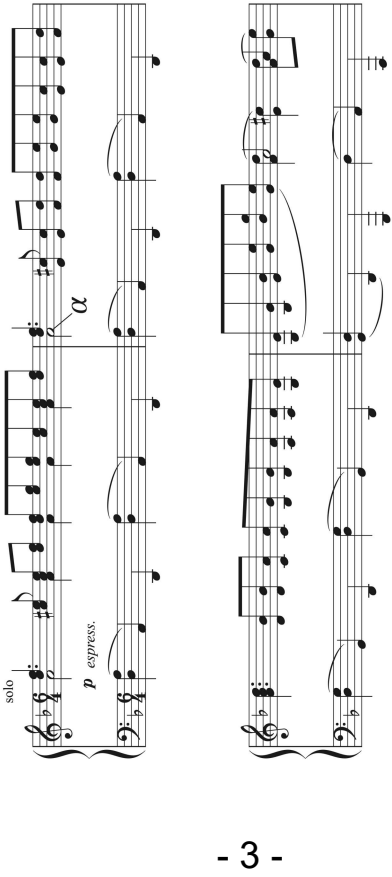
2



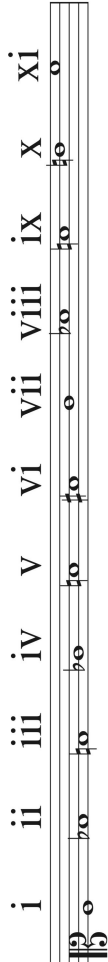
I 楽譜1）は、ブラームスのピアノ協奏曲第一番の抜粋です。設問に答えなさい。

- 1 楽譜1）の調をドイツ語で答えなさい。
- 2 楽譜1）のαの音を下属音とする短調の音階を、調号を用いて書きなさい。
(和声短音階の上行形を書くこと)
- 3 第1小節と第2小節を長二度上に移調し、調号を用いないで解答用紙に記入しなさい。
(アーティキュレーションなども全て明記する。)

楽譜1)



II 下記は、メシアンの「移高が限られた第7旋法」です。i～xiの音を組み合わせることができる和音（異名同音を含む）の種類を例にならって表1のア～ケから選び記号で答えなさい。



例	i + iv + vii	1	i + iii + v + viii	2	iv + vii + x	3	iii + v + x
		4	iii + vi + ix	5	iv + vi + ix + xi	6	iv + v + ix + xi

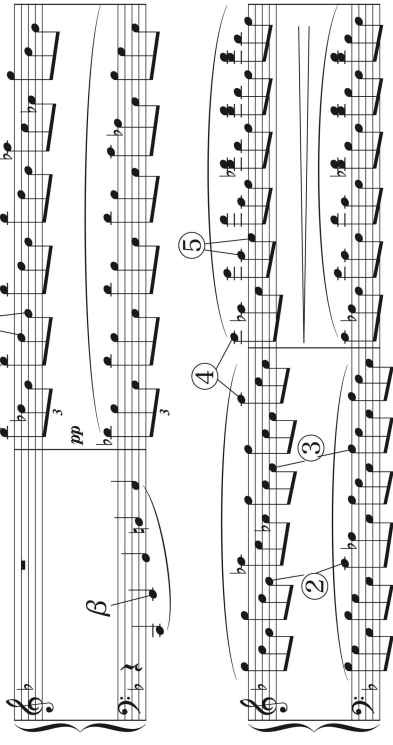
表1

ア	長三和音	イ	短三和音	ウ	減三和音	エ	増三和音	オ	属七の和音
カ	減七の和音	キ	短七の和音	ク	長七の和音	ケ	導七の和音		

III 楽譜2）は、ブラームスのピアノ協奏曲第一番の抜粋です。設問に答えなさい。

- 1 ①～⑤の音程を例にならって答えなさい。(複音程は単音程に直すこと)
- 2 楽譜2）の調をドイツ語で答えなさい。
- 3 楽譜2）のβの音を主音とする長調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書きなさい。また、その名称を譜表の上部に、和声記号を下部に書きなさい。
- 4 楽譜2）の完全小節をJ = 80のテンポで演奏した時の演奏時間を秒数で答えなさい。
(ただし、演奏によるテンポの変化はないものとする)

楽譜2)



IV 次の楽語の意味を表2のア～カから選び記号で答えなさい。
(同じ記号を複数回選ばないこと)

1	poco	2	stringendo	3	senza
4	spiritoso	5	amabile	6	parlando

表2

ア	次第に速く（次第に急迫して）	イ	～をしないで	ウ	愛らしく
エ	活気をつけて	オ	少し	カ	話すように

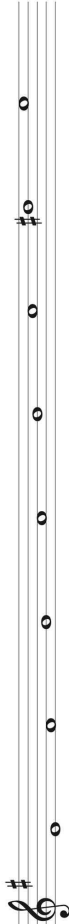
科目名： 楽典

受験番号

I

1 d-moll

2



1. 次の楽譜は、H.C.ワーク作曲《大きな古時計》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

Moderato

あ

い

う

き

く

- (1) この曲は、何分の何拍子か。次の中から選びなさい。
4 分の 4 拍子 8 分の 6 拍子 2 分の 4 拍子 4 分の 3 拍子 8 分の 5 拍子
- (2) この曲は、何調か。

(3) あ、い、う の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。

(4) か、き、く の記号の名称と意味を答えなさい。

(5) この曲を $J=80$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)

(6) この楽譜の 3 段目を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア ト短調 (和声的短音階) イ 二長調

(2) 解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア D イ G7 ウ B $\flat$ エ Cm オ Em

3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5 つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の () に書くこと。

(1) ハ短調の平行調は何調か。

(2) D 音 (二音) をもとにしたドミナント・セブンス・コードについて、D 音以外のすべての音名を答えなさい。

(3) 次の中から、2 分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

ア 8 分音符 + 4 分音符 イ 付点 4 分音符 + 8 分音符
ウ 全音符 + 付点 8 分音符 エ 4 分音符 + 16 分音符

(4) 次の中から、速度の変化を指示する記号を 1 つ選び、読みと意味を答えなさい。

D.C. diminuendo V r accelerando legato

(5) 次の中から、作曲家の名前を 1 つ選んで答えなさい。

ソナタ レクイエム アイーダ ヴィヴァルディ ガムラン

(6) 三線の二揚調子において、中絃を G (ト音) とすると、女絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 三線の本調子において、男絃と中絃の音程は何度か。1 (3)の例にならって答えなさい。

(8) 琉球箏曲の本調子の調弦のとき、三線の女絃 (工) の音高と合わせる箏の絃の名を答えなさい。

(9) 琉球舞踊「前の浜」で用いられる曲名 (節名) をすべて答えなさい。

科目名：楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）（解答用紙）

受験番号	
------	--

1.

(1) 4分の4拍子 (2) へ長調

(3) 【例】短7度

あ 短2度 い 完全4度 う 長2度

(4) か 名称 モデラート 意味 中ぐらいの速さで

き 名称 メッツ・フォルテ 意味 少し強く

く 名称 スタッカート 意味 音を短く切って

(5)

計算式

$$60 \div 80 \times 4 \times 24 = 72$$

72 秒

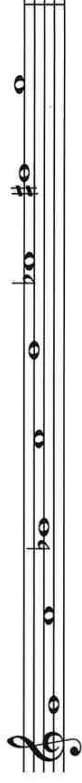
(6)



(演奏上の記号は無くてもよい)

2.

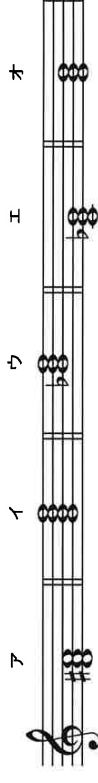
(1) ア



イ



(2)



3.

(1) 変ホ長調

(2) F# (嬰へ音)、A (イ音)、C (ハ音)

(3) イ

(4) *accelerando* アツチェレランド だんだん速く

(5) ヴィヴァルディ

(6) C (ハ音)

(7) 完全4度

(8) 巾または八

(9) 前の疾節、坂原口説、与那原節

<本試験>

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜

科目名：聴音
専攻名・コース名：音楽表現専攻・音楽文化専攻音楽学コース

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜<聴音>

<本試験>

1.単旋律

♩ = 60 ca.

1. 単旋律聴音課題 G-dur 3/4拍子 8小節
主和音、1小節分カウント
通奏1回
前半3回
通奏1回
後半3回
通奏1回

5

2. 単旋律聴音課題 c-moll 6/8拍子 8小節
主和音、1小節分カウント
通奏1回
前半3回
通奏1回
後半3回
通奏1回

2.単旋律

♩ = 48 ca.

3. 四声体和声聴音課題 e-moll 2/2拍子 8小節
主和音、1小節分カウント
通奏7回

5

3.四声体和声聴音

♩ = 48 ca.

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜

専攻名・コース名：音楽表現専攻・音楽文化専攻音楽学コース

The first system of the musical score for 'The Rose Tree' is written on a single staff. It begins with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The melody consists of a series of eighth and sixteenth notes, with some notes beamed together. The system ends with a double bar line.

The musical score for 'The Rose Tree' is presented in two systems. The first system consists of a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff contains the melody, which begins with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat). The bass staff contains the accompaniment, which begins with a bass clef and a key signature of one flat. The second system continues the melody and accompaniment. The melody is written in a simple, folk-like style with a mix of eighth and quarter notes. The accompaniment provides a steady harmonic foundation with a mix of eighth and quarter notes. The piece concludes with a final chord in the bass staff.

通奏7回

<本試験>

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜

科目名：新曲視唱

専攻名・コース名：音楽表現専攻・音楽文化専攻音楽学コース

$\text{♩} = 144 \text{ ca.}$

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

科目名：作曲実技 受験番号：_____

* (1) と (2) の四声体和声課題を完成せよ

(1) Allegro con spirito

(2) Moderato

令和五年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

科目名：小論文 専攻名・コース名：音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

問一 課題図書各章の中から、あなたが興味を持った章を一つ選び、その概要を説明しなさい。(二〇〇～三〇〇字程度)

問二 問一を踏まえて、あなたの考える「声の文化」について論じなさい。(八〇〇字程度)

課題図書

増野亜子『声の世界を旅する』（音楽之友社、二〇一四）

小論文（音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース）

1. 出題の意図

課題図書は、民族音楽学者が世界各地の様々な声の文化について考察したエッセイである。出題は、興味を持った章や著者の考え方について説明させ、受験者の考えを述べさせることにより、受験者が課題図書の内容をどのように理解し、どのように考えたか、またその考えをどのように他者に対して的確に伝えることができるかを問うものである。

2. 評価の観点

- ・課題図書に対する理解
- ・音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
- ・論理性、思考力
- ・独創性、発想力
- ・文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）

小論文（琉球芸能専攻）

問題 資料文は、柳宗悦「舞踊」『琉球の富』ちくま学芸文庫、二〇二三年）である。資料文を読んで、その各問に応えなさい。

問一 「沖縄」の古典（芸能）について、どのような形として存在するの書かれている部分がある。本文の中から一つを選んで抜き出し、解答欄に書きなさい。

問二 「舞踊」に関する著者の論考から、本文の一部を引用しながら、それに対するあなたの意見を自らの経験をもとに千字程度で論じなさい。

資料文

舞踊

日本の舞楽の中で、最高なものは、能楽であることを誰も知っています。それが舞楽として世界にも類例の稀な程発達し尽した芸であることを感じます。東洋の美の帰趣でもあり、兼ねて又禅意にも適うものであって、静中の動を示した最後の芸能であるとも云えるでしょう。あらゆる讃辞をうけていい伝統的な日本の舞楽なのです。それは型に迄高まったものであり、法の芸と呼んでもいいでしょう。其の歌詞、音曲、舞踊、衣裳、舞台、凡てのものが一定の式に迄達しているのです。私達はこう云う芸能を有つ日本を誇りに想うものです。

併し私達にとって一つ残念なことは、それが余りにも古典であって、私達の現在の生活に直接交わりを有つことが薄いことです。それは寧ろ現代を超越した境地に価値があるとも云えるでしょう。私達はそれ等なものを見て暫く遠い世界に遊ぶことが出来るのです。此のことは一つの恵みではありますが、若し能楽がもつと吾々の生活に近く迫るものであるなら、尚価値が大きいと云えないでしょうか。それは余りにも古典だと云う感じから逃れることが出来ません。実際能楽は特殊な階級の人々、又は特別に此の世界に心を惹かれる人々だけの所有であって、一般の庶民からは切り離されているのです。普通の大衆は既に豪華なものになった能会に中々近寄ることが出来ませぬ。

併し何たる幸いなことか、沖縄に来ると能楽は足利時代の古典ではなくして、現在も活きている舞楽なのです。島の人達は漸く此の幸福を忘れかけて来た怨みがありますが、それで

1

もまだ民衆の間に交っているのです。其の様式は全く能に由来せるものであって、而も生活にもっと即したもののなのです。それだけに見えて何か迫るものを感じます。大体組踊と名づけるものは、題目に於ても能楽と共通したものが多いいです。能と吾々の距離よりもっと吾々に近い感じを与えます。動きは静かですが更に鋭いのです。私は沖縄の至宝玉城盛重（たまぐすくせいじゅう）翁の踊を見て能よりも一段と深い感銘を受けました。能楽は吾々に遠慮することなく、時代を離れた遠い世界に於て行われます。併し沖縄の舞楽はかかる隔りを破って吾々に近づきます。足利時代の人が能楽を見た時の感じは、沖縄で受ける私達の感激と甚だ近い性質のものであったと思います。美しさがもつと生活に近く迫ってくるのです。それは等しく型の芸能ではありますが、型と実とがもつと切実に結ばれているのです。沖縄では古典が遠い距離にあるのではなくして、近い時間の上にあるのです。足利時代が今も活きている時代なのです。そこには時間の経過が行われていないのです。ですから丁度能楽をもっとじかに触れ合つて見ている感じなのです。私はかかる状態が今尚残る沖縄を睥睨して見つめないわけにゆかないのです。能を知る程の凡ての人は、沖縄に於て、能の本来の姿を更に目撃せられるでしょう。どんな地方に旅したとて、沖縄ほど盛（さかん）に固有の芝居、踊、唄を夜毎毎に見せてくれる所はないのです。

それに沖縄では踊そのものが、遥かに深く民衆の生活に入っているのです。誰でも歌を知り踊を楽しむのです。踊は生活になくてならないものなのです。沖縄の舞踊はかかる環境を背景として栄えているのです。本土の盆踊の歌や踊にも忘れ難いものがあります。併し沖縄のは凡てにも増して美しいのです。そうしてもっと日々の生活と深い交わりがあり、人と踊との間に必然な繋がりが見られるのです。

私達は読者が一日も早く沖縄の舞踊に接せられんことを望みます。上、古典的なものから下、土俗的なものに至る迄、それが沖縄本来のものである限り、決して活々とした美しさを欠いている場合がないのです。就中（なかんずく）玉城盛重翁の芸は天下の至宝とも云うべく、かかるものに接する時、人間は己が此の世に生まれたことに感謝の念を禁じ得ないでしょう。

（参考） ルビ挿入

「云える」「凡て」「有つ」「併し」「其の」「而も」「瞠目」
語意

「瞠目」驚いたり感心したりして、目をみはること。

令和五年度 沖縄県立芸術大学音楽学部入学試験（前期日程）

小論文（琉球芸能専攻 社会人選抜）**解 答**

受験番号：_____

問1 「沖縄での古典(芸能)」について、どのような形として存在するのか書かれている部分がある。本文の中から1つを選んで抜き出し、解答欄に書きなさい。（20点）

（解答例）

- ・近い時間の上にあるのです。
- ・足利時代が今も活きている時代なのです。
- ・そこには時間の経過が行われていないのです。
- ・丁度能楽をもっとじかに触れ合っている感じなのです。

問2 「舞踊」に関する著者の論考から、本文の一部を引用しながら、それに対するあなたの意見を自らの経験をふまえて以下で論じなさい。（80点）

令和五年度 沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜入試

科目名 初見視唱 専攻名・コース 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」

① 若松

わぬや中城 若松どやゆる。

みやだいいりことあてど 首里にのぼる。

廿日夜のくらさ 行先やまよて、

ことに山路の 露もしげさ。

② 宿の女

たるよ夜深さに 宿からんでいふすや、

親の留守やれば、 自由もならぬ。

③ 若松

廿日夜のくらさ 道まよてをたん。

御情の宿に しばしやすま。

④ 宿の女

をどこ生れても 恋しらぬものや

玉のさかづきの 底も見らぬ。

出典：伊波普猷編『校註琉球戯曲集』一九九二年榕樹社
*一部、異体字を改め、句読点については省いた。

I 下記の楽譜 1) は、バッハの組曲 BWV818 の冒頭です。設問に答えなさい。

- 1 楽譜 1) の調をドイツ語で答えなさい。
- 2 楽譜 1) の (x) の音を属音とする短調の音階を、調号を用いて書きなさい。
(和声短音階の上行形を書くこと)
- 3 第 1 小節と第 2 小節を二度上に移調し、調号を用いないで解答用紙に記入しなさい。
(強弱記号なども全て明記する。)

楽譜 1)

Allemande

16

II 下記は、c-moll の和声短音階です。i ~ viii の音を組み合わせでできる和音 (異名同音を含む) の種類を例にならって表 1 のア〜カから選び記号で答えなさい。

i ii iii iv v vi vii viii

例 i + iii + v

1 ii + iv + vi 2 iii + v + vii 3 ii + iv + vii

4 ii + v + vii 5 ii + iv + v + vii 6 ii + iv + vi + vii

表 1

ア	長三和音	イ	短三和音	ウ	減三和音	エ	増三和音	オ	属七の和音
カ	減七の和音	キ	短七の和音	ク	長七の和音	ケ	導七の和音		

III 下記の楽譜 2) は、バッハの組曲 BWV818 の抜粋(曲の途中)です。設問に答えなさい。

- 1 ①〜⑤の音程を例にならって答えなさい。(複音程は単音程に直すこと)
- 2 楽譜 2) の調をドイツ語で答えなさい。
- 3 楽譜 2) の (y) の音を主音とする長調の主要三和音を解答用紙の指定された譜表に調号を用いて全音符で書きなさい。また、その和音の名称を譜表の上部に、和声記号を下部に書きなさい。
- 4 楽譜 2) の完全小節を J = 80 のテンポで演奏した時の演奏時間を秒数で答えなさい。
(ただし、演奏によるテンポの変化はないものとする)

楽譜 2)

IV 次の楽語の意味を表 2 のア〜カから選び記号で答えなさい。
(同じ記号を複数回選ばないこと)

- 1 arioso 2 capriccioso 3 brillante
- 4 colla parte 5 dolente 6 assai

表 2

ア	主声部に従って	イ	気まぐれに	ウ	華やかに
エ	悲しげに	オ	歌うように	カ	非常に

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜
(模範解答)

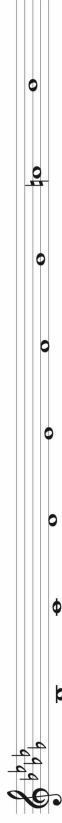
科目名： 楽典

受験番号

I

1 a-moll

2



3

[illegible]

III

例 イ

1	ウ	
2	エ	
3	ウ	

4 ア 5 オ 6 カ

III

1

例 完全一度

① 減七度

②短三度

③ 短二度

④ 長六度

⑤ 增二度

2 e-moll

3

和音の名称(主和音) (下属和音) (属和音)

和声記号(I) (IV) (V)

4 6秒

IV

$$\begin{array}{r} 1 \text{ 才} \\ 2 \text{ 1} \\ 3 \text{ 7} \end{array}$$

4 ア 5 工 6 カ

科目名：楽典

専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、中田章作曲《早春賦》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) この曲は、何分の何拍子か。

(2) この曲は、何調か。

(3) あ、い、う の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。

(4) か、き、く の記号の名称と意味を答えなさい。

(5) この曲を ♩ = 120 の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)

(6) この楽譜の 4 段目 (12 小節目から 15 小節目まで) を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア ホ短調 (和声的短音階) イ 変ロ長調

(2) 解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア G イ Dm ウ Fm エ E オ C7

3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の()に書くこと。

(1) ヘ長調の平行調は何調か。

(2) 次の速度記号を速いものから順に並べなさい。

Allegro Andante Moderato Presto Largo

(3) 次のコードネームの中から、ハ長調の主要三和音に当たる和音を選んで答えなさい。

C D E F G A B

(4) *dim.* を省略せずにアルファベットで書き、読みと意味を答えなさい。

(5) オークストラに使われる弦楽器を 2 つ答えなさい。

(6) 三線の本調子において、男絃を C (ハ音) とすると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 三線の二揚調子において、中絃と女絃の音程は何度か。1 (3) の例にならって答えなさい。

(8) 琉球箏曲の本調子の調弦において、一の絃と五の絃の音程は何度か。1 (3) の例にならって答えなさい。

(9) 琉球古典舞踊で「女踊り」と呼ばれる演目名を 1 つ答えなさい。

科目名：楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）（解答用紙）

	受験番号
--	------

1. (1) 8分の6拍子 (2) 変ホ長調

- (3) 短7度 [例]

あ 短3度 い 長2度 う 完全5度

- | | | | | | |
|-----|---|----|--------|----|--------|
| (4) | か | 名称 | ピアニッシモ | 意味 | とても弱く |
| | き | 名称 | リタルダンド | 意味 | だんだん遅く |
| | く | 名称 | ア・テンポ | 意味 | もとの速さで |

- (5)

計算式

$$60 \div 120 \times 6 \times 32 = 96$$

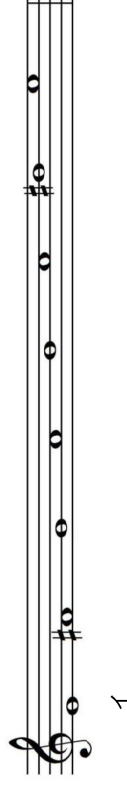
- (9)



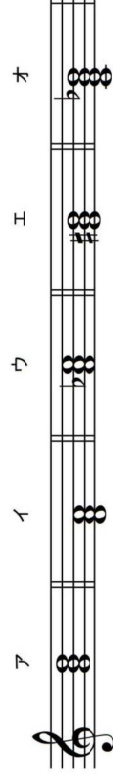
(演奏上の記号は無くてもよい)

- 2.

- (1) $\mathcal{A}$



- (2)



- ၈၁

- | | |
|-----|--|
| (1) | 二短調 |
| (2) | <i>Presto. Allegro. Moderato. Andante. Largo</i> |
| (3) | C、F、G |
| (4) | <i>diminuendo</i> デイミヌエンド だんだん弱く |
| (5) | ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス等 (二つ) |
| (6) | F (へ音) |
| (7) | 完全4度 |
| (8) | 完全1度 |
| (9) | 諸屯、伊野波節、総掛、柳、天川、作田等 (一つ) |

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜

科目名： 聴音

専攻名・コース名：音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース

令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜<聴音>

1. 単旋律



1. 単旋律聴音課題 D-dur 3/4 拍子 8 小節

主和音、1 小節分カウント

通奏 1 回

前半 3 回

通奏 1 回

後半 3 回

通奏 1 回



2. 単旋律聴音課題 g-moll 6/8 拍子 8 小節

主和音、1 小節分カウント

通奏 1 回

前半 3 回

通奏 1 回

後半 3 回

通奏 1 回

2. 単旋律



3. 四声和声聴音課題 h-moll 2/2 拍子 8 小節

主和音、1 小節分カウント

通奏 7 回



3. 四声体和声聴音



令和5年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜

科目名： 新曲視唱

専攻名・コース名：音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース

$\text{♩} = 80 \text{ ca.}$

小論文（音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース）

1. 出題の意図

出題は、現代の社会と音楽・舞踊との関わりについて論じさせることにより、受験者が音楽・舞踊にどのように接し、どのように考えているか、またその考えをどのように他者に対して的確に伝えることができるかを問うものである。

2. 評価の観点

- ・音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
- ・論理性、思考力
- ・独創性、発想力
- ・文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）

令和五年度 沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦選抜

科目名 初見視唱 専攻名：コース 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」

① 若松

二十日夜のくらさ 道まよてをたん、

御情の宿に しぼしやすま。

② 宿の女

まれの御行合さらめ あまく片時も、

起きれきれ里よ 語らひぼしやの

③ 若松

御縁てす知らぬ 恋の道知らぬ、

しばし待ちかねる 夜明しら雲。

④ 宿の女

深山鶯の 春の花ごとに、

吸ゆる世の中の 習や知らね。

出典 伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年榕樹社

* 一部、異体字及び、句読点については省みた。